

県内健診機関で初めて！

『**卵巣がん腫瘍マーカー検査セット**』

【CA125・HE4・ROMA値】

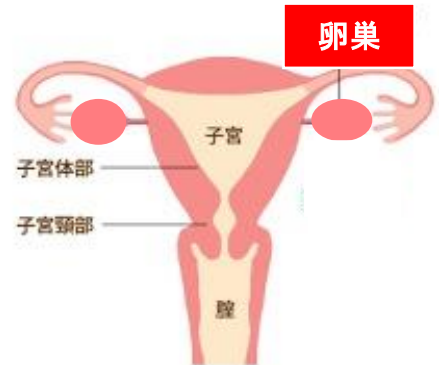
検査料金

2,916円

(税込み)

卵巣がんとは

卵巣がんは40歳代から増加し、50歳代～60歳代がピークであり、年々増加傾向にあります。卵巣は骨盤内臓器の為、卵巣がん初期の段階では、自覚症状がほとんどなく、症状が現れた時には既に進行していることも少なくありません。早期発見できれば、生存率も



卵巣がん腫瘍マーカー(血液)検査セットについて

CA125

婦人科領域でよく利用される腫瘍マーカーです。卵巣がん全体で約80%の陽性率を示しますが、閉経前の子宮内膜症や卵管炎などの良性疾患や炎症性疾患、月経周期や妊娠でも変動します。

HE4

卵巣がん患者の血液中に高濃度で検出され、上皮性卵巣がんを高値を示します。子宮内膜症などの婦人科良性疾患や妊娠で上昇することが少ないと言われています。



ROMA値にて判定(鑑別)します

CA125とHE4の値に、閉経情報を組み合わせて行う卵巣がんの推定指標を、ROMA値(上皮性卵巣悪性腫瘍推定値)といいます。異なる**2つの腫瘍マーカー**を組み合わせることで卵巣がんに対する**精度が高まり**、卵巣腫瘍が良性か悪性かを鑑別する有用な指標になる値です。



Q. 子宮がん検査とは違うの？

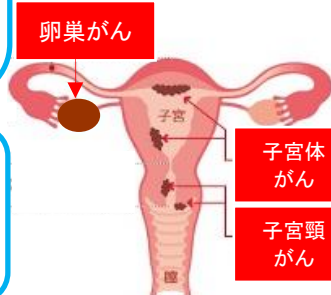
A. 子宮がんと**卵巣がん**では発生部位、検査方法が異なります。両方の検査をお勧めします。

Q. どんな検査をするの？

A. 健診時に採血した血液で検査をします。

Q. 生理中に検査してもいいの？

A. 生理中、ピル・ホルモン剤服用中、授乳中の方も検査できます。



Q. 閉経前か閉経後か言わないとダメ？

A. 基準値が閉経前後で異なるため、大変重要な情報**となります。看護師との問診時にお伺いしますので、ご協力をお願いします。**

Q. 結果が基準値を超えると卵巣がんなの？

A. 結果が基準値を超えたからといって、がん**と確定されるものではありません。必ず婦人科をご受診下さい。**

Q. 妊娠中も検査できるの？

A. 妊娠中は、数値に影響を及ぼしますので、ご受診頂けません。

